

12月

月間指導計画

0歳児



保育目標		暖かい日には、十分な寒さ対策をした上で積極的に戸外に戸外で遊ぶ。 クリスマスの楽しい雰囲気を感じる。			
子どもの姿		靴での歩行に慣れ、自分から靴を着脱しようとする。 言葉やしぐさで特定の保育士に要求を伝えようとする。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	ひとりひとりの体調の変化に気をつけて過ごせるようにする。	冬の感染症が流行しやすいので、衣服の調整や玩具の消毒など、改めて職員間で共通意識を持つ。	午睡時に暑がったり、寒がったりする子どももいる。	気温に応じて、保護者の方に毛布を持参していただく。 午睡中も子どもたちの些細な様子に気を配り、必要に応じて検温を行う。
	情緒	「いや」と言葉やしぐさで伝えようとする。	自我の芽生えを認め、自分でやりたい気持ちを見守りながら、個別に対応する。	玩具の取り合いが起こることもある。	同じものがある事を知らせ、取り合いから手が出るトラブルを防ぐようにする。
教育	健康	暖かい日には、十分な寒さ対策をして戸外で遊ぶ。	気温に合わせて防寒着を調整し、暖かくして過ごせるようにする。	寒さから鼻汁が出る子どももいる。	戸外での活動の際は、保育士のエプロンや散歩カートにティッシュを携帯し、いつでも拭き取れるようにする。
	人間関係	保育士や友だちの遊びを見て興味を持ち、平行遊びをしようとする。	十分に平行遊びが楽しめるように、玩具の数を充実させておく。	同じ遊びをして、時々友だちに気がつき、目を見合わせて笑ったりしている。	「一緒だね」「嬉しいね」など、平行遊びの中でも相手に気がつくことができるような言葉をかける。
	環境	クリスマスの絵本や飾りを保育士に見せてもらいながら、楽しい雰囲気を感じる。	クリスマスを題材にした絵本を読む。 園内を散歩して飾り付けを見る活動を取り入れる。	興味があるものを指さしたり、絵本を保育士の元を持ってくるなど、何度も読んでほしいことを伝えている。	園内の飾りと、絵本の絵が同じであることを伝え、見つけた喜びを共に分かち合う。
	言語	「ワンワン」「プープー」「どうぞ」など、簡単な一語文を発語しようとする。	散歩中に見つけた犬や車など、積極的に保育士が言葉にすることで、発語できるようにする。	保育士の真似をして、発語してみようとする。	出来たことを認め、褒めることで、自信に繋がるようにする。
	表現	保育士が歌うクリスマスソングを、語尾や言葉など、部分的に真似して歌おうとする。	子どもたちが真似しやすい歌詞のクリスマスソングを選ぶ。	曲を流したり保育士が歌うと、期待を持って手を叩いたり体を揺らしている。	保育士自身も楽しみながら歌い、手遊びを加えるなどして、楽しい雰囲気をつくる。
食育		「もぐもぐ」と保育士の口の動きを真似して、よく噛んで食べる。	保育士が口を動かしたり、「もぐもぐ」と言葉にして、模倣しやすくする。	出来たことを褒めてもらっている友だちを見て、自分もやってみようとする。	無理なく取り組めるよう、褒めることを意識する。
健康・安全		冬の感染症が流行しやすい時期なので、家庭での健康状態をしっかり把握し、体調の変化に気を配る。 感染症がまん延しないよう、保育室の換気や、温度、湿度のこまめな調整と、玩具の消毒など、改めて職員間で共通意識を持って取り組む。			
保護者支援		戸外で遊ぶ時のジャンパーや、午睡時の毛布など、寒さ対策をおたよりにも記載し、保護者の方に準備していただく。			